



株主の皆さまへ

第40期中間報告書

2012.3.1 ~ 2012.8.31



イオンディライト株式会社

証券コード：9787





Top Message

トップメッセージ

先行投資を増やすも増収増益が続く

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第40期第2四半期連結累計期間（2012年3月1日～2012年8月31日）における業績と事業への取り組みにつきまして、以下、ご説明いたします。



代表取締役社長
梅本 和典

■当期間の業績

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,267億71百万円(対前年同期比115.3%)となりました。利益面では、営業利益が71億13百万円(同102.9%)、経常利益が71億24百万円(同102.1%)、四半期純利益が39億44百万円(同106.2%)でした。LED工事などの原価率上昇などから売上総利益率が前年同期比1.4ポイント低下したほか、中国・アセアン市場開拓など成長分野への先行投資により販売管理費が前年同期比103.7%増加したためです。

■当社グループの主な取り組み

当第2四半期連結累計期間において当社は、総合ファシリティマネジメントサービス（総合FMS）事業による更なる成長を目指し、中期経営計画でターゲットとする「大都市圏」「環境負荷低減」「アジア」の3つのマーケットを中心に積極的な営業活動を推進しました。

a. BEMSアグリゲータに採択

経済産業省・資源エネルギー庁の外郭団体・一般社団法人環境共創イニシアチブが募集した「エネルギー管理システム導入促進事業費補助金」（BEMS導入促進事業）のBEMSアグリゲータに採択されました。小型店舗のトータル管理サービスを提供するエイ・ジー・サービス株式会社をBEMSの販売店と位置づけ販売体制を構築しています。

b. 省エネ関連工事の拡大

省エネ関連市場が拡大する中、需要を確実に取り込み、LED工事をはじめとした省エネ関連工事の売上高を対前年同期比553.2%と大きく伸ばしました。今後、イオングループ内でのLED導入及び省エネ関連工事の実績を活かし、イオングループ以外のお客さまからの受託拡大を目指します。

c. 中国事業の更なる拡大

当社子会社「永旺永楽（北京）物業服務有限公司」は8月、中国・天津市開発区の省エネ・再生エネルギー開発の草分けである「天津泰达能源工程技術有限公司」と合併会社「永旺永楽泰达（天津）物業服務有限公司」を設立いたしました。地域に根差した事業展開を進め、環境ビジネスにおいて高い競争優位性を発揮することにより事業拡大を目指します。

また、イオングループ内で新たに13店舗を受託しました。イオングループ以外でも、江蘇省の日系工場の総合FMSコンサルティング業務や、北京市の国営ショッピングセンターの総合FMS業務などを受託しています。

d. アセアンへの事業展開

マレーシアに3月、準備会社を設立し、今期中の事業開始を目指して営業ライセンスの取得や現地法人の設立などを進めました。ベトナムでも事業ライセンスの取得を目指し、本年11月の現地法人設立を目指しています。

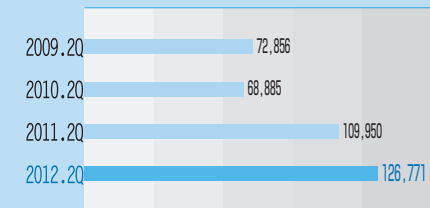
e. BPO事業の新会社設立を決議

総合FMSにおける新たな取り組みとして、「ヴィンキュラムジャパン株式会社」「株式会社東忠」と、中国での合併会社設立を決定しました。企業が総務・人事・経理・福利厚生・電話対応・システム運用といった主に間接業務をアウトソースするBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）市場への参入が目的です。10月の事業開始に向けて取り組みを進めております。

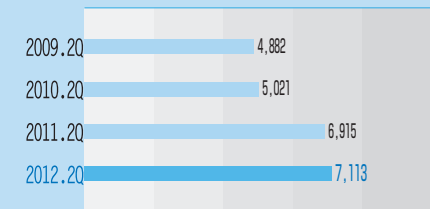
【連結財務指標】

売上高

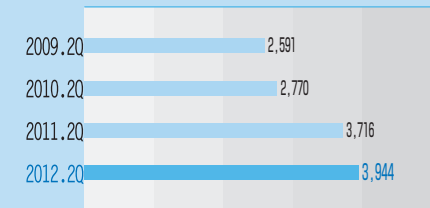
（単位：百万円）



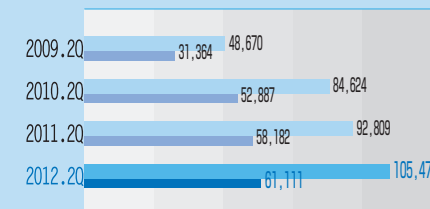
営業利益



四半期純利益



総資産・純資産



● ● ● ● ● ● ● ●

Consolidated Financial Sheets

連結財務諸表（要約）

(百万円)		
連結貸借対照表	当第2四半期連結会計期間 2012年8月31日	前連結会計年度 2012年2月29日
(資産の部)		
Ⅰ.流動資産	85,499	72,486
Ⅱ.固定資産	19,978	20,322
有形固定資産	3,709	3,773
無形固定資産	11,925	12,272
投資その他の資産	4,344	4,276
資産合計	105,478	92,809
(負債の部)		
Ⅰ.流動負債	43,370	33,643
Ⅱ.固定負債	996	983
負債合計	44,366	34,626
(純資産の部)		
Ⅰ.株主資本		
資本金	3,238	3,238
資本剰余金	18,766	18,753
利益剰余金	38,181	35,285
自己株式	△458	△460
株主資本合計	59,727	56,816
Ⅱ.その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	654	665
為替換算調整勘定	△29	△18
その他の包括利益累計額合計	624	647
Ⅲ.新株予約権	209	173
Ⅳ.少数株主持分	550	545
純資産合計	61,111	58,182
負債純資産合計	105,478	92,809

(百万円)		
連結損益計算書	当第2四半期連結累計期間 2012年3月1日～ 2012年8月31日	前第2四半期連結累計期間 2011年3月1日～ 2011年8月31日
Ⅰ.売上高	126,771	109,950
Ⅱ.売上原価	111,789	95,444
売上総利益	14,982	14,506
Ⅲ.販売費及び一般管理費	7,869	7,590
営業利益	7,113	6,915
Ⅳ.営業外収益	135	181
Ⅴ.営業外費用	124	122
経常利益	7,124	6,974
Ⅵ.特別利益	—	73
Ⅶ.特別損失	39	477
税金等調整前四半期純利益	7,084	6,570
法人税、住民税及び事業税	2,674	2,759
法人税等調整額	430	21
法人税等合計	3,105	2,781
少数株主損益調整前四半期純利益	3,978	3,789
少数株主利益	33	73
四半期純利益	3,944	3,716

(百万円)		
連結キャッシュ・フロー計算書	当第2四半期連結累計期間 2012年3月1日～ 2012年8月31日	前第2四半期連結累計期間 2011年3月1日～ 2011年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,600	2,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,887	△1,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△1,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△874	△361
現金及び現金同等物の期首残高	9,179	12,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,304	11,956

Column

.....

買い物カゴあれこれ

いつものお店で何気なく使う買い物カゴ。ショッピングには欠かせない“縁の下の力持ち”で、イオンディライトが扱う商品のひとつでもあります。今回のコラムでは、この「買い物カゴ」について取り上げます。

.....

種類はさまざま

買い物カゴには、実は決まったサイズはありません。スーパーマーケットでよく使われているのは「33リットル」と呼ばれるサイズ。商品が小さい雑貨店などでは、その半分以下の「16リットル」サイズも見かけます。材質はほとんどが合成樹脂で、抗菌や帯電防止といった機能を持たせていることも。

清潔さが肝心

食べ物を入れることも多いだけに、清潔さが肝心。スーパーマーケットでは、定期的に洗浄を行うケースが増えています。イオン



ディライトでも、買い物カゴの納入先に銀イオン水による滅菌・抗菌洗浄サービスを提供。洗浄前後には雑菌検査も行っています。

意外に多いロス数

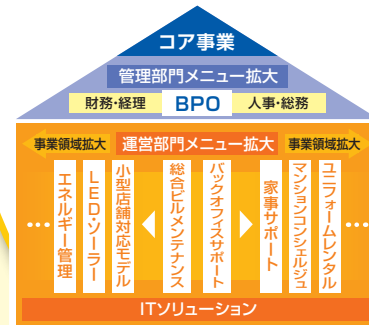
買い物カゴは紛失や破損などにより、1年間でおよそ4割が使えなくなります。イオンディライトは、使えなくなったカゴの補充もお引き受けしているほか、破損・老朽化したものについてはペレット化し、リサイクルに回しています。

カゴ洗浄を通じて社会貢献

イオンディライトは現在、買い物カゴを通じた社会貢献を進めています。知的障がい者の方の授産施設に洗浄を委託することで、障がい者の方の自立を促そうという試みです。洗浄を委託している買い物カゴの数は月間で90万個にのぼります。委託している施設は全国に7施設あり、2013年3月には北海道でも委託を開始する予定です。

Segment Information セグメント概況

総合FMS (ファシリティマネジメントサービス) とは？



企業の
経営環境整備
をワンストップで
サポートし、ライフサ
イクルコストの最小化を実
現するサービスです。

グローバル経済が進展し、技術
革新によって新しいビジネスやサー
ビスが次々と誕生するなか、急激に
変化を遂げる事業環境に柔軟・迅速に
対応できるか否かが、企業の成長を大
きく左右するカギとなっています。

イオンディライトでは、お客さまが
コアビジネスに集中できる経営環境の
実現に向けて「総合FMS（ファシリ
ティマネジメントサービス）」を構築。
業種・業態を問わず、あらゆる周辺業
務（ノンコア業務）をサービスメ
ニュー化し、ワンストップソリュー
ションとして提供しています。

企業競争力の強化はもちろん
のこと、ライフサイクル
コストの最小化を実
現してまいり
ます。

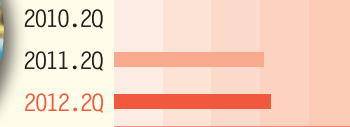
建設施工事業



売上高
299億65百万円
(対前年同期比214.5%)

- LED工事などの省エネ関連工事
や修繕工事の需要を確実に取り
込む。
- イオングループ以外のお客さま
への積極的な営業活動を推進。

資材関連事業



売上高
192億94百万円
(対前年同期比104.8%)

- 5円コピー機などOA機器の拡販
や白衣などユニフォームレンタ
ル事業を拡大し収益向上へ。

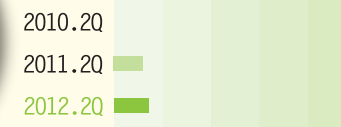
自動販売機事業



売上高
160億79百万円
(対前年同期比97.0%)

- デジタルサイネージ型自動販売
機などの高付加価値機能の開発
により販売強化。
- 支店単位で新たなロケーション
開発を行うなど、エリア特性を
活かしたきめ細かい営業活動を
推進。

サポート事業



売上高
42億90百万円
(対前年同期比117.9%)

- 商業施設の管理・運営に必要不
可欠な現金輸送のサービスソリ
ューションの提供を拡大。
- 市場のニーズに応じた新たなサ
ービスメニューの業態開発に取
り組む。

設備管理事業



売上高
211億24百万円
(対前年同期比99.2%)

- 巡回型の設備管理の効率化を一層推
進、収益性の向上を目指す。
- BEMS導入プランの積極的な提案
活動により、BEMSアグリゲータ
事業の更なる拡大を図る。

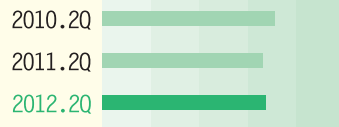
警備事業



売上高
158億7百万円
(対前年同期比97.6%)

- セキュリティ精度の飛躍的向上が
可能な集中監視カメラシステムを
推進。
- 委託価格の適正化により収益向
上を図る。

清掃事業



売上高
202億6百万円
(対前年同期比101.9%)

- 当社オリジナルの床材のコーティ
ング剤導入により新規受託の増加
を図る。
- 特に専門的なノウハウを要する病
院や介護施設を戦略的なターゲッ
トに。

警備事業の新しい取り組み 館内総合オペレーター アテンダー



アテンダーとは

警備事業では現在、新たな取り組みとして「アテンダー」の導入を進めています。

アテンダーとは、インフォメーション業務とともに総合FMS視点からお客さまの「安全・安心・快適」に関わる館内チェックを行なう、新たな付加価値をプラスした接客サービスです。

● インフォメーション業務

アテンダーは従来のブース内の業務に館内巡回をプラスし、お客さまに能動的なサービスを行なうところに特徴があります。お困りのお客さまにはこちらからお声掛けし、会話の中からニーズを引き出すなど、お客さまに寄り添うホスピタリティサービスをご提供しています。

また、お客さまにすばやく情報をご提供するためにiPadを使用し、館内情報提供や近隣地理・公共交通機関の時刻表案内などを行なっています。

● 総合FMS視点での館内巡回業務

スタッフは警備員資格を保有し、総合FMSの視点から館内の安全性や快適性のチェックを随時行なっています。不審者・不審物の確認や体感温度・湿度・店内美観に目配りし、必要に応じた一次対応や無線機での情報共有によりお客さまが快適に過ごせる館内環境維持に繋がっています。

インフォメーションブースと巡回の両方を行なうアテンダーのほか、巡回に特化したアテンダーなど複数のバリエーションを用意しています。

お客さまの声

アテンダーを導入した店舗では、お客さまからの感謝の声も多く寄せられております。引越直後にご来店されたお客さまには、会話の中からお困りごとを察知し、電話回線の開設方法など店舗情報以外であってもお伝えしたことで、店舗の常連のお客さまとなっただけで、お客さまになり代わってご家族へ電話連絡を行なうなど、きめ細かな対応を行なった結果、後日感謝のお手紙をいただくなど、アテンダーのサービスが評価されています。

アテンダーの展望

アテンダーは現在、イオン明石ショッピングセンター・イオンジェームス山店で導入しておりますが、今秋オープンするイオン貝塚店を皮切りに、今後全国の導入拡大を目指しています。更に、今後は定期的な接客・



警備研修に加えて介助士やチャイルドケアオブザーバー等の資格取得などのスタッフのスキルアップを行ない、お客さま満足度の向上に努めていきます。



イオンディライトセキュリティ
株式会社 明石警備隊

佐野 麻衣子さん



1. アテンダーの仕事の中で 気をつけていることは何ですか。

最後に「お店に来てよかったな」と思ってもらえ、「ありがとう」と言われるようにお客さまに接しています。また、お客さまの表情や反応を見ながら、“今の説明はわかりやすかったか” など、常に考え工夫することを心がけています。

2. お客さまとの 印象的なエピソードを教えてください。

子ども達がインフォメーションのお姉ちゃんに会いに来たよと言ってくれたこと、お姉ちゃんの絵を描いたよと持ってきてくれたことがあり、本当に嬉しかったです。

3. これから目指していきたいことは何ですか。

私個人としては、いろいろな資格にチャレンジし、自分が成長することにより、お客さまに一步先を行くサービスを提供したいと考えています。また、私たちと同じ志を持ったアテンダーが全国に広がってほしいです。



Topics トピックス

BPO (Business Process Outsourcing) 事業に本格参入

2012年8月、当社、ヴィンキュラム ジャパン株式会社、株式会社東忠の3社により、中国・杭州においてBPO (Business Process Outsourcing) 事業を行なう合併会社「永旺永楽(杭州) 服務外包有限公司」を設立することを決定しました。

また、2012年10月には、高いオペレーション運用能力を持つソリューション提案型のBPO事業会社、株式会社ジェネラル・サービスズの株式を取得し子会社化することを決定しました。株式会社ジェネラル・サービスズは日本でのアウトソーシング導入コンサルティングとともに中国・大連で大連東軟信息服务有限公司によりサービス提供を行なっています。

このBPO事業参入により、社内BPOの推進による収益性の向上とサービスメニューとしての事業展開に向けた取り組みを推進していきます。



ホームプロデューサー&アテンダント協会を協賛

当社と生活支援サービスを手掛ける株式会社カジタクは、2011年12月に設立された一般社団法人ホームプロデューサー&アテンダント協会 (HPAA) への協賛を行なっております。HPAAでは、家事や育児・家族のケアなどの生活支援サービス分野における人材育成を通じて、少子高齢化社会の社会インフラとしての生活支援サービス市場の拡大とサービスの品質向上のための活動を行なっています。更には当協会の活動が主婦やシニア・高齢者層における雇用機会の創出にも繋げていけるよう、今後も協賛を続けていきます。



Corporate Data 会社概要(2012年8月31日現在)

社名	イオンディライト株式会社 AEON DELIGHT CO., LTD.
創業	1972年11月16日
資本金	323,800万円
事業内容	総合FMS (ファシリティマネジメントサービス) 事業
従業員数	3,812名 グループ合計7,171名
本社所在地	【大阪本社】 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 南船場ハートビル 【東京本社】 〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー8F
連結子会社	イオンディライトアカデミー株式会社 イオンディライトセキュリティ株式会社 永旺永楽(北京) 物業服務有限公司 環境整備株式会社 株式会社ドゥサービス エイ・ジー・サービス株式会社 株式会社カジタク FMSソリューション株式会社

取締役・監査役・執行役員	
取締役会長 代表取締役社長 兼取締役社長執行役員	古谷 寛 梅本 和典
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	中山 一平
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	中山 隆一
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	早水 恵之
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	家志 二郎
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	好浦 正耕 三山 眞信
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	山玉 眞信
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	岩瀬 眞信
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	山相 陸
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	小飯 貴野
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	飯原 康佳
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	三川 仁秀
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	高滝 戸前
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	水宮 秀吾
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	沢原 公雄
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	杉田 浩之
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	遠藤 英彰
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	澤田 基千
取締役社長執行役員 兼取締役社長執行役員	大 江

ホームページリニューアルのお知らせ

当社のコーポレートサイトをリニューアルいたしました。個人投資家の皆さまへ向けたページなどIR情報を充実させるとともに、当社の今を伝えるおすすめサービスなどを紹介しております。

<http://www.aeondelight.co.jp>



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日
基準日	2月末日 (そのほか必要がある場合はあらかじめ公告いたします。)
定時株主総会	5月
単元株式数	100株
権利確定日	期末配当 毎年2月末日 中間配当 毎年8月31日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や 買取請求等株主様の各種お手続きは、原則とし て口座を開設されている証券会社等経由で行な っていただくこととなりますので、ご利用の証 券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別 口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いた します。 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつ きましては、みずほ信託銀行の下記連絡先 にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)

株式の状況 (2012年8月31日現在)

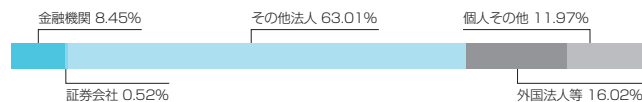
発行可能株式総数	86,400,000株
発行済株式総数	54,169,633株
株主数	6,247名

大株主の状況 (千株未満切り捨て) 所有比率は発行済株式に対する比率です。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	ジェービー モルガン チェース バンク 385174	1,372	2.53
4	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,201	2.22
5	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,029	1.90
6	イオンディライト取引先持株会	668	1.23
7	イオンディライト従業員持株会	661	1.22
8	ザバンク オブ ニューヨーク トリートイー ジャスデック アカウント	586	1.08
9	ジェービーモルガンチェース ユーエス ベンシヨン トリートイー ジャスデック	578	1.07
10	メロン バンク エヌエー トリートイー クライアント オムニバス	478	0.88

(注) 上記の所有株式数の他に、当社は自己株式1,710千株(発行済株式総数に対する
所有株式数の割合3.16%)を所有しております。

所有者別株式分布状況



ホームページ上で公告・各種資料がダウンロードできます。

<http://www.aeondelight.co.jp>